

駒岡小学校 学校経営方針 2026

【学校教育目標】

駒岡の自然の中で 豊かな人間性と生きる力を育む

1 健康でねばり強い子ども 2 よく考え実践力のある子ども 3 明るく助け合う子ども

<パートナー校で目指す15歳の姿> 「人として胸をはって生きる自分」

駒岡小の特色ある教育

<子どもの実態>

- 活動に進んで取り組む
- 自然への愛着がある
- ・自己肯定感がやや低い

【重点目標 2026】

『自然・人・未来』とつながり、
主体的に考え、行動する子どもの育成

<保護者・地域>

- 特色ある教育への期待
- 活動を支える協力意識
- 専門性豊かな地域人材

仲間と一緒に楽しくチャレンジ

<みどりの風船> 自然 本物の体験活動を充実させる

- 学校林・精進川・農園を生かしたカリキュラムマネジメント
- 自然の中での集団づくり
- 学校林走による体づくり
- スーパーロング中休みを活用した自然体験の日常化
- 自主性と協調性を育むサマーフェス・スノーフェス

<ありがとうの風船> 人 相互承認の感度を高める

- 多様性を認め合う心の育成
- 絆を深めるみずなら活動
- あいさつ運動の日常化
- 「ありがとう見付け」の日常化
- スーパーロング中休みを活用した「ありがとうの日」の工夫
- 自分たちの願いを協力して実現する自治的な活動の推進

<?(はてな)の風船> 未来 未来に生きて働く力を育む

- AAR サイクルの視点に沿った課題探究的な学習の推進
- 子どもがつながる学び
- 相手意識をもった聴き合う姿
- 自ら学ぶ力が育つ家庭学習
- 学びの質を高めるICTの活用
- 駒岡の特色を生かし感性や知的好奇心を育む野焼きDAY

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と 実感できる学校づくり ～人間尊重の教育～

<保護者とともに>

- 日常的な信頼関係の構築
- 懇談を活用した相互理解
- 宿題・家庭学習連携
- PTAボランティア連携
- 図書ボランティア連携

<教職員個々の力を結集して>

- 共に支え合い高め合う同僚性
- 学校改善に向けて提案・実践する参画意識
- 授業力を高め子ども理解を深める教職員研修
- ワークライフバランスを実現する働き方改革
- 学校事務の適正な推進と学校環境の整備充実

<地域とともに>

- 地域の教育力の活用
- 特色ある教育の連携
- 安全を守る環境整備
- CSの在り方検討
- 目標やビジョンの共有

<子どもを守る学校づくり>

- いじめ対策委員会の定期開催による組織的対応
- 「居場所づくり」を大切に不登校支援
- シャボテンログによる子どもの日々の実態把握
- 現実に即した危機管理マニュアルの策定と運用
- アレルギー対応・熱中症対策の万全な体制づくり
- 地域の災害リスクを踏まえた実践的な避難訓練
- バス指導による子どもの実態把握・見守り

<特別支援教育の組織的な取組>

- 人間尊重の意識の向上(体罰・不適切指導の禁止)
- 信頼関係を基盤とする適切な子ども理解
- 多様な背景をもつ子どもへの丁寧な支援
- 校内学びの支援委員会の機能を生かした組織的な支援体制の強化(年6回の定例会の開催)
- 特別支援教育コーディネーターの役割の明確化
- 「個別的教育支援計画」の組織的共有

<パートナー校との連携>

- 教師間連携(札教研・研修会)
- 学校の特色を踏まえた教育課程連携
- 自治的活動連携(児童委員会等)

<関係機関との連携>

- 教育委員会との連携
- SC・SSWとの連携
- 児相・家児相等との連携

<支援団体との連携>

- 環境教育諸団体との連携
- 札幌市立大学との連携
- 札幌市青少年山の家との連携